

令和3年11月17日  
交通政策審議会  
第83回港湾分科会  
資料1-3

テーマ	港湾	変更概要	主な変更内容
バルク	八代港	<p>増大する原木需要に対応するため、港湾機能の強化を図る</p> <p>港湾空間の利用再編を行うとともに、企業誘致の促進を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係留施設(水深-12.0m 延長230m)、埠頭用地(13.2ha)、泊地(水深12.0m 16.1ha)の位置づけ</li> <li>土地利用の変更(工業用地 20.0ha→39.6ha)</li> </ul>

# 八代港港湾計画 一部変更

前回改訂:平成17年 11月(目標年次:平成30年代前半)

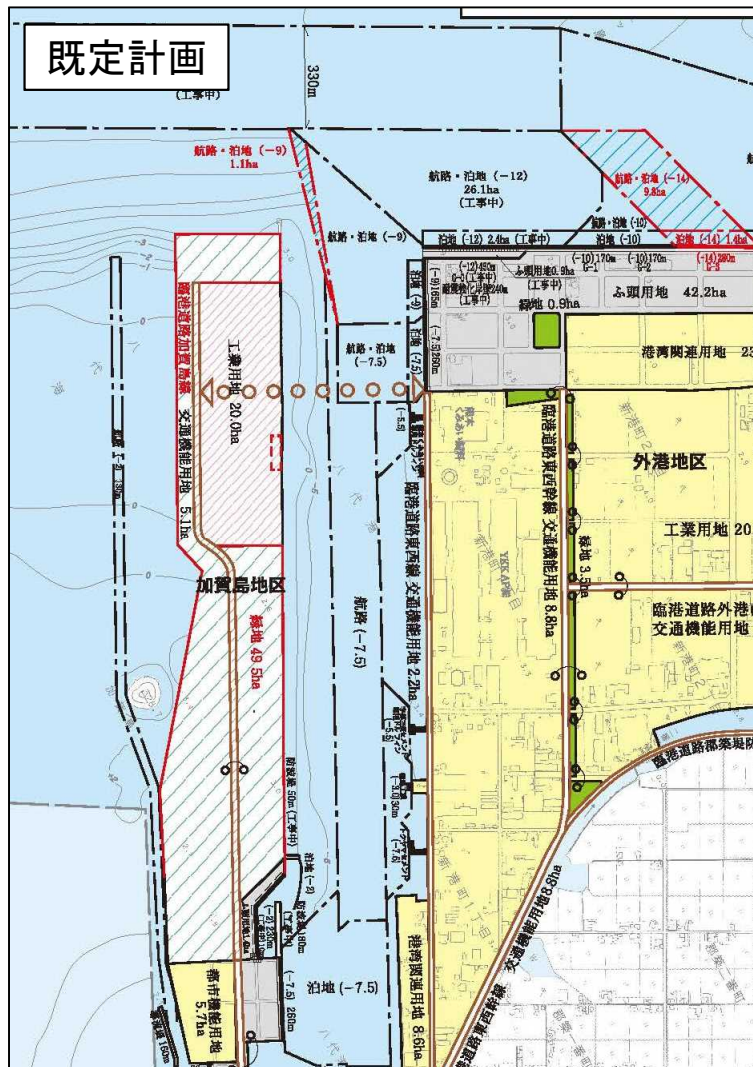
- 加賀島地区に岸壁・泊地・埠頭用地を位置付け、原木船の大型化に対応できる効率的な原木拠点を構築する。
- 加賀島地区における新たな公共埠頭の整備に併せ、背後の生産ゾーンを拡大し、新規企業の誘致に対応する。



# 計画変更の内容

## 【計画変更のポイント】

○八代港では、原木の輸出が増加しており、今後も増加する見込みであることから、更なる輸出拡大と輸出の効率化を図るため、原木船の大型化が見込まれる。一方、既存の施設は既に岸壁の利用状況が逼迫すると共に、原木置場となる用地の不足が深刻化している。そのため、加賀島地区に新規岸壁及び埠頭用地等の計画が必要である。



- 【公共埠頭計画】
- 岸壁(水深12.0m 延長230m)
- ふ頭用地(13.2ha)
- 【水域施設計画】
- 泊地(水深12.0m 16.1ha)
- 航路・泊地(水深12.0m 1.0ha)
- 【土地利用計画】
- 工業用地 20.0ha→39.6ha

# 基本方針との適合

テーマ	変更概要	基本方針	
		I 港湾の開発、利用及び保全の方向に関する事項	II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項
林産品 輸出	増大する原木需要に対応するため、港湾機能の強化を図る	1 特に戦略的に取り組む事項(に係る基本的な事項) (1)我が国の産業と国民生活を支える国際海上輸送網の構築と物流空間の形成 ④我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成	
企業誘致	港湾空間の利用再編を行うとともに、企業誘致の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流機能・産業空間の新たなニーズに柔軟に対応する港湾空間の利用再編・再開発の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業動向、船舶の大型化等の輸送形態の変化、荷役に係るニーズ等への対応</li> </ul>